

渋川北群馬郡地域感染症発生動向調査情報（週報）

2026年第8週（2025年2月16日～2026年2月22日）

令和8年2月25日

★インフルエンザの報告数が増加し、警報発令中です。

第7週に報告された患者のうち、約93%はインフルエンザB型でした。今シーズンすでにインフルエンザにかかった方でも、型が異なる場合は再び感染することがあります。予防には「外出後は石けんで丁寧に手を洗う」「室内では定期的に換気し、湿度を50～60%に保つ」「人ごみを避ける」といった対策が有効です。また、咳やくしゃみが出る時は、「マスクを着用する」「鼻や口をティッシュで覆う」「袖や上着の内側で口や鼻を覆う」などの咳エチケットを心がけましょう。

★感染性胃腸炎の報告が続いています。

感染性胃腸炎は、ノロウイルスなど、アルコール消毒が効きにくい微生物が原因となることもあります。トイレの後やおむつ交換の後には、石けんで丁寧に手を洗いましょう。

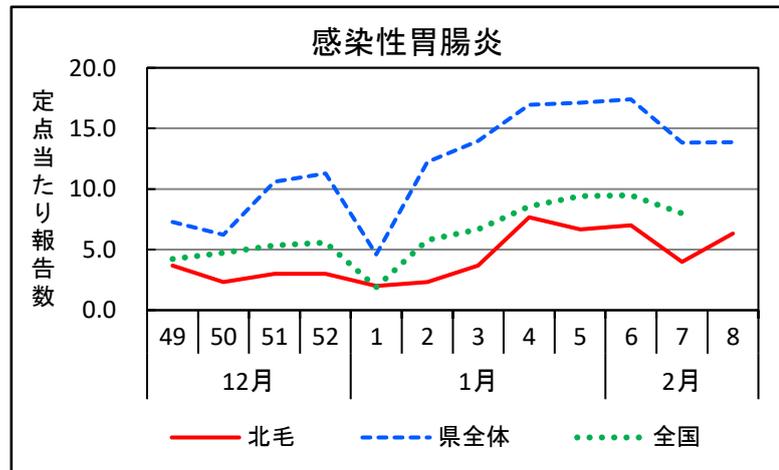
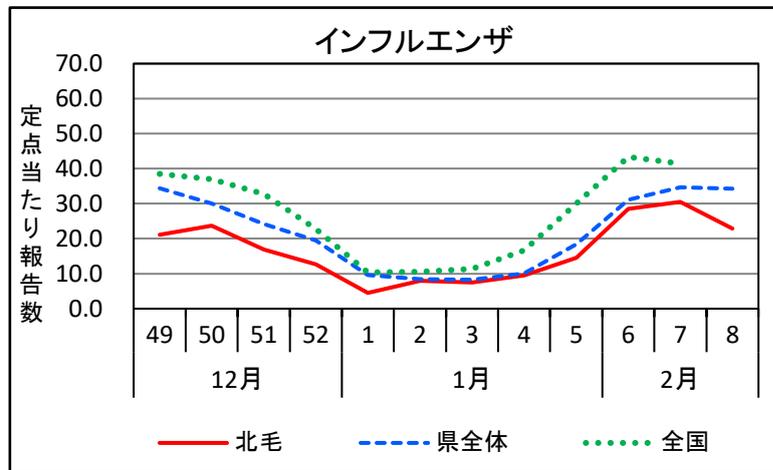
おう吐物などで汚染されたものの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム

（塩素系漂白剤）が有効です。

★全数報告疾患（渋川保健所管内）

届出なし

2月25日
夕刊紙の日



疾患別報告数一覧

上記グラフは、北毛地域の注目疾患について掲載しています。

急性呼吸器感染症（ARI）定点把握疾患及び小児科定点把握疾患			眼科定点把握疾患		
疾病名	定点当たり報告数		疾病名	定点当たり報告数	
	北毛	県全体		北毛	県全体
急性呼吸器感染症（ARI）※	45.50	117.36	急性出血性結膜炎	-	-
インフルエンザ	22.83	34.24	流行性角結膜炎	-	0.30
新型コロナウイルス感染症	1.17	2.04	基幹定点把握疾患		
R Sウイルス感染症	-	0.67	疾病名	定点当たり報告数	
咽頭結膜熱	-	0.17		北毛	県全体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	1.38	細菌性髄膜炎	-	-
感染性胃腸炎	6.33	13.88	無菌性髄膜炎	-	0.11
水痘	0.33	0.21	マイコプラズマ肺炎	-	0.67
手足口病	-	-	クラミジア肺炎	-	-
伝染性紅斑	-	0.08	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	0.11
突発性発しん	-	0.25	インフルエンザ（入院患者）	-	2.00
ヘルパンギーナ	-	-	新型コロナウイルス感染症（入院患者）	-	2.67
流行性耳下腺炎	-	-			

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計しています。

図表中の「北毛」は、渋川保健所管内・吾妻保健所管内・利根沼田保健所管内を指します。

※令和7年4月7日より、流行しやすい急性呼吸器性感染症の発生動向の把握、新興・再興感染症の早期探知を目的として、急性呼吸器感染症（ARI）が新たに追加されました。

●凡例 警報レベル 注意報レベル

より詳しい感染症情報は
群馬県ホームページで公開しています。



【お問合せ先】

渋川保健福祉事務所 保健係

E-mail : shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp

TEL : 0279-22-4166